

泉キャンパス課外活動施設 利用マニュアル

2025 年度版

東北学院大学学生部学生課

本マニュアルについて

本マニュアルでは、泉キャンパスの課外活動施設の利用方法及び利用時の安全管理について記載しています。

— 目 次 —

泉キャンパス課外活動施設の概要 P2

- 総合運動場
- 総合運動場合宿所
- 体育館
- コミュニティーセンター
- 部室棟

施設を利用するには P3

- 施設の利用時間
- 利用の申し込み
- その他の手続き

利用許可後の手続き P4

- 鍵の貸出・返却
- 夜間照明コインの貸出

課外活動施設利用上の注意 P5

利用時の安全管理について P6

- 大地震が発生した場合の対応
- 大怪我や急病等の事故が発生した場合の対応
- AED の設置場所
- 熱中症の予防について
- 打撲・捻挫・骨折の応急処置
- 泉キャンパス近隣の医療機関

担当部署 P15

- 執務時間
- 住所・電話番号



泉キャンパス課外活動施設の概要

泉キャンパスにて課外活動団体が利用できる施設は以下のとおりとなります。

総合運動場

- ・野球場 20 グラウンド A コート 17 ・グラウンド B コート 18
- ・陸上競技場 11 ・テニスコート 15 ・ハンドボールコート 14
- ・ライフル射撃場 16 ・総合運動場管理室/合宿所 12 ・弓道場 7 ・プール 10

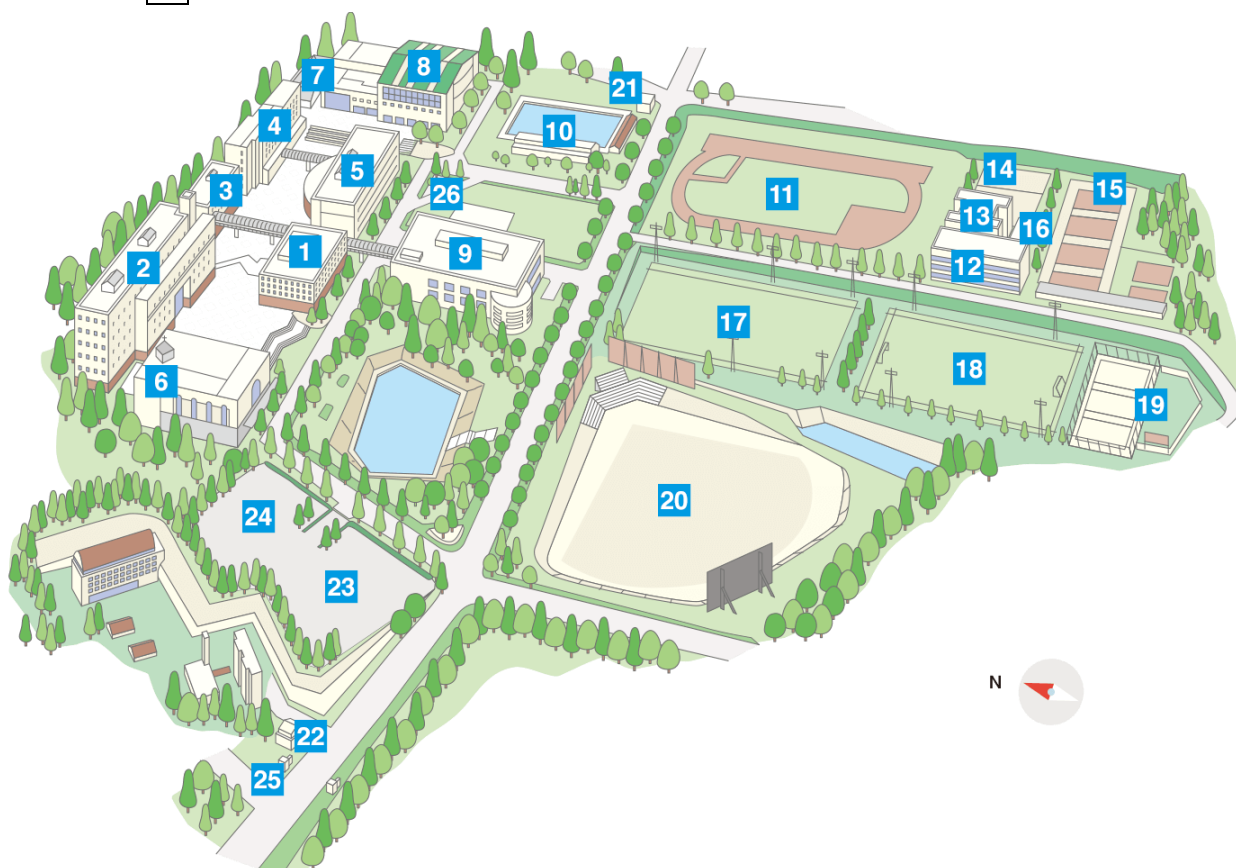
体育館 8

- ・第 1 体育室 ・第 2 体育室 ・第 3 体育室 ・第 4 体育室
- ・トレーニング室 ・研修室

コミュニティーセンター 9

- ・多目的ホール ・第 1 練習室 ・第 2 練習室 ・第 3 練習室 ・第 4 練習室
- ・第 1 会議室 ・第 2 会議室 ・第 3 会議室 ・第 4 会議室 ・第 5 会議室
- ・アトリエ ・オーディオ室 ・スタジオ ・和室

部室棟 13



施設を利用するには

各施設の利用時間

授業期間中

- ・月曜日～土曜日 9時～22時
- ・日曜日・祝日 9時～18時

長期休業期間中 9時～18時

施設閉鎖日 大学が必要と定める日（お盆期間・年末年始・施設点検日・その他）

利用の申し込み

総合運動場及び体育館

申込先：泉キャンパス体育事務室、または土樋キャンパス体育事務室

※「月間使用計画書」及び「使用願」を使用前月の20日までに上記事務室に提出し、許可を得なければなりません。

※次に該当する時間帯は使用できません。

- (1) 礼拝時間
- (2) 授業（スポーツ実技）時間
- (3) その他学生部長が使用を禁止する必要があると認める場合

総合運動場合宿所

申込先：土樋キャンパス学生課

※使用希望日の1か月前までに所定の使用願を提出し、学生部長を経て学長の許可を得るとともに、使用料を財務課に納入しなければなりません。

コミュニティーセンター

申込先：五橋キャンパス学生課

※使用の3日前までに所定の使用願を記入の上、上記申請場所に提出しなければなりません。なお、使用願は五橋キャンパス学生課で配付しています。

部室棟

申込先：五橋キャンパス学生課

※課外活動更新手続きの際に、所定の使用願を上記申請部署に提出してください。
（新規の場合は都度相談すること。）



利用許可後の手続き

鍵の貸出・返却先

1. 総合運動場（弓道場・プールを除く）：総合運動場管理室 1 階事務室
2. 体育館・弓道場・プール・ライフル射撃場：体育館 1 階体育事務室
3. コミュニティーセンター：正門警備員室
4. 部室棟：正門警備員室

夜間照明コインの貸出

1. 総合運動場管理室 1 階事務室

その他の手続き

泉キャンパスへの車両の入構について

申請先：五橋キャンパス学生課、土樋キャンパス学生課

「臨時駐車願」を駐車希望日の 3 日前まで上記申請先に提出ください。

※課外活動上必要な荷物の搬入や搬出等のために一時的に許可されます（合宿のための送迎バスの駐車も含む）。

※課外活動で泉キャンパスを利用する団体に所属している学生については、事前登録の上、活動時のみ駐車を許可します。（駐車許可証を発行します）

事前登録は、各キャンパス学生課に申請してください。

泉キャンパスで学外者との試合・大会等を行う場合

申請先：五橋キャンパス学生課、土樋キャンパス学生課

「開催願」（各団体が催物を開催（主催）する場合に提出する書類）を開催 2 週間前までに上記申請先に提出ください。

泉キャンパスで他団体主催の試合・大会に参加する場合

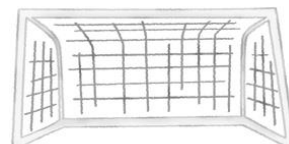
申請先：五橋キャンパス学生課、土樋キャンパス学生課

『大会出場・合宿・遠征届』を大会日の 2 週間前までに申請先に提出ください。

泉キャンパスでイベント等を開催する場合

申請先：五橋キャンパス学生課、土樋キャンパス学生課

「開催願」（各団体が催物を開催（主催）する場合に提出する書類）を開催 2 週間前までに上記申請先に提出ください。



課外活動施設利用上の注意

- (1) 各施設の使用規程に沿って利用してください。
- (2) 利用中止や時間、内容など変更が生じたときは直ちに以下まで連絡してください。
体育館・総合運動場 : 泉キャンパス体育事務室 電話 022-375-1191
コミュニティーセンター : 正門警備員室 電話 022-375-1155
- (3) 利用開始予定時間の30分を経過しても利用を開始しない時は、許可を取り消すことがあります。
- (4) 施設の利用後は、整理、整頓、清掃を行い、必ず原状回復してください。
施設や物品の破損があった場合は、体育館・総合運動場は体育事務室へ、コミュニティーセンターは正門警備員室へ速やかに報告してください。また、許可なしに施設内の設備を変更することや、器材・器具を搬入・搬出することはできません。
- (5) ゴミは分別し、所定のゴミ箱に入れてください。ただし、試合・大会や行事等での利用の場合はゴミ箱の利用は禁止とし、必ず利用者が持ち帰るようにしてください。
- (6) 泉キャンパスでは定められた場所以外で喫煙をすることは禁止です。
- (7) 更衣室ロッカーには私物を置きっぱなしにしないでください。定期的に点検し、発見した場合一定期間保管の後、処分します。
- (8) 泉キャンパス利用の際は、近隣への迷惑（無断駐車・路上駐輪、騒音、ゴミのポイ捨てなど）にならないよう注意してください。
- (9) 許可なく物品又は文書・図画を陳列・販売・頒布あるいは騒音を発するなどの他人に迷惑を与える行為をすることは禁止です。
- (10) 事前に許可を受けた暖房器具以外の火気使用は原則禁止です。
- (11) 本学施設の利用中、利用者自身が受けた損害（駐車場内での事故等）に対し、本学は本学に故意または過失がある場合を除き、当該損害に対する責を負いません。
- (12) 利用者同士の間が生じた係争やトラブルについて、本学は本学に故意または過失がある場合を除き、一切関与せず責任を負いません。

利用時の安全管理について

大地震が発生した場合の対応

1. 大きな揺れを感じたり、緊急地震速報が放送されたら、まず自分の身を守ってください

- ・窓や棚など、ガラスが割れたり物が飛び出しそうな場所から離れます
- ・上から物が落ちてこない、横から物が倒れてこない場所に移動し、低い姿勢になって持ち物や両手で頭を守ってください
- ・時間に余裕があれば、ドア付近にいる人はドアを開け、出口を確保してください

2. 揺れがおさまったら

- ・静かにあわてずに行動してください
- ・火災の発生や負傷者がいる場合は、警備員に知らせてください

3. 自分自身が負傷したり、逃げ遅れたら

- ・大声をあげて助けを呼んでください
- ・声が出なくても、手近のものを使って大きな音を出し、周囲の人に気づいてもらえるよう試みます

4. 避難

- ・緊急放送や職員・警備員等の指示・誘導に従って一時避難場所に避難します
- ・避難する際も頭を守って、静かにあわてずに行動してください
- ・一時避難場所は、「コミュニティーセンター東側広場（中庭）」「陸上競技場」「グラウンド A コート」「グラウンド B コート」「野球場」です
- ・階段廊下で通路渋滞を起こさないよう注意してください
- ・負傷者や行方不明者がいる場合は、職員・警備員に報告してください
- ・避難場所では、次の指示があるまで冷静に待機してください

5. 緊急連絡先

- | | |
|----------------|--------------|
| ・ 泉キャンパス体育事務室 | 022-375-1191 |
| ・ 泉キャンパス正門警備員室 | 022-375-1155 |



大怪我や急病等の事故が発生した場合の対応

1. 泉キャンパス体育事務室へご連絡ください。 電話：022-375-1191

※体育事務室が留守の場合は、警備員室に連絡ください。 電話：022-375-1155



2. 事故発生時は、近くに職員や管理人、警備員等がいれば至急応援を要請してください。(救急車を呼んだ場合、事故現場への誘導がスムーズになり早い対応が可能です。)



3. 傷病人が出た場合は、傷病人の意識の有無の確認のうえ、意識がない場合や重篤な症状の場合は、救急車を要請してください。救急車が不要な場合でも病院受診をすすめ、原則として傷病人の活動は中止してください。

※以下の「救急車の呼び方」を参考にしてください。



4. 救急車やタクシー等での医療機関への搬送時には、各課外活動団体に必ず1名は付き添ってください。



5. 付き添い者は、下記の項目を把握してください。

①怪我人の氏名等

課外活動団体名・氏名・学部学科・学年・性別・自宅生か自宅外生か

怪我人の携帯番号

②事故の発生状況メモの作成

③救急搬送先の病院名

④怪我人の診察結果・容態

なお、怪我人の診察終了後に、部長（指導教員）、体育事務室、怪我人の保護者（必要に応じて）、に速やかに報告してください。



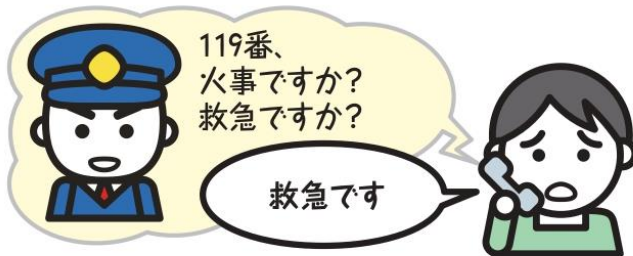
6. 負傷発生報告書の提出

提出先：五橋キャンパス学生課・土樋キャンパス学生課

課外活動中に生じた、急激かつ偶然な外来の事故によって怪我をした場合に必要な書類『負傷発生報告書』を提出することにより、1.学生医療費補助（※学内で発生したものに限り）、2.学生教育研究災害傷害保険（※学校で全学生に掛けている保険）、を申請することができます。

救急車の呼び方

119番通報をすると、指令員が救急車の出動に必要なことを、順番にお伺いします。
緊急性が高い場合は、すべてお伺いする前でも救急車が出動します。
あわてず、ゆっくりと答えてください。



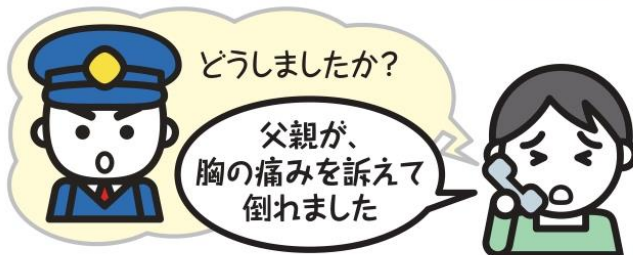
1 救急であることを伝える

119番通報をしたら、まず「救急です」と伝えてください。



2 救急車に来てほしい住所を伝える

住所は、必ず市町村名から伝えてください。
住所が分からない時は、近くの大きな建物、
交差点など目印になるものを伝えてください。



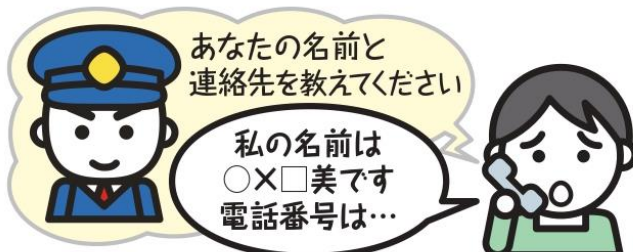
3 具合の悪い方の症状を伝える

最初に、誰が、どのようにして、どうなったと
簡潔に伝えてください。
また、分かる範囲で意識、呼吸の有無等を
伝えてください。



4 具合の悪い方の年齢を伝える

具合の悪い方の年齢を伝えてください。
分からない時は、「60代」のように、
おおよそでかまいませんので伝えてください。



5 あなたのお名前と連絡先を伝える

あなたのお名前と119番通報後も
連絡可能な電話番号を伝えてください。
場所が不明な時などに、問い合わせること
があります。

※その他、詳しい状況、持病、かかりつけ病院等について尋ねられることがあります。
答えられる範囲で伝えてください。

※上記に示したものは一般的な聞き取り内容です。

ためらわず救急車を呼んでほしい症状：大人

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気やけがの可能性あります。

顔

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい、うまく話せない
- 視野がかける
- ものが突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い



頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐらい急にふらつく

胸や背中

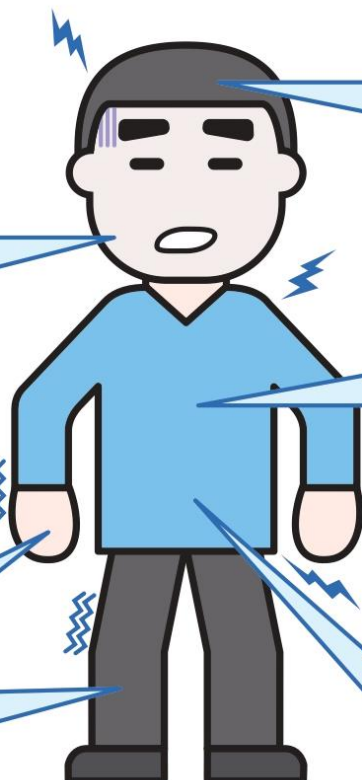
- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 痛む場所が移動する

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

腹

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある



意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)
- ぐったりしている

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない



けが・やけど

- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど



吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
- 変なものを飲み込んで、意識がない



事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合



AED の設置場所

- ・警備員室 ・1号館（2階） ・5号館（1階） ・コミュニティーセンター（1階）
- ・体育館（2階） ・総合運動場管理室（1階）

※適切に心肺蘇生を行うには、正しいタイミングで AED を使用することが大切です。
いざという時のため、救急救命の手順や AED の使い方を身につけておきましょう。

もしも
だれ
誰かが
倒れたら

エー イー ディー
AEDと
しん ばい そ せい
心肺蘇生
いち じき けいめい じょち
一次救命処置

て じゆん
手順を
おぼ
覚えよう

1 はん のう かく にん
反応を確認...

2 おお こえ たす よ
大きな声で助けを呼ぶ.....

3 こ きゅう かく にん
呼吸の確認....

4 エーイーディー でん げん い おん せい したが
AEDの電源を入れ音声に従う..

5 しん ばい そ せい ほう ほどこ
心肺蘇生法を施す

6 エーイーディー でん き
AEDで電気ショック.....

繰り返（くりかえ）し
繰り返（くりかえ）し

救急救命隊（きゅうきゅうめいたい）が到着（とくちやく）するまで救命処置（けいめいじょち）を続（つづ）けましょう

AED（えーいーでぃー）

JRC蘇生ガイドライン2020を基にした簡易版一次救命処置の手順です。

熱中症の予防について

熱中症の予防には、水分補給が大切です！ 喉の乾きを感じる前に、こまめな水分補給を行いましょう！（室内でも熱中症になることがあります）。また、十分な睡眠時間を取るなど体調管理に気を配り、熱中症にならないよう各自注意してください。

【こまめに水分を補給してください】

喉の渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液などを補給しましょう。

【暑さを避けてください】

できるだけ風通しのよい日陰など、涼しい場所で過ごしましょう。課外活動休憩時には冷房休憩室（体育館データ 2 階解析室、総合運動場合宿所 2 階研修室）を利用できます。さらに、以下の症状にお気をつけください。

＜熱中症の症状＞ めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い、頭痛、吐き気、嘔吐（おうと）、倦怠感、虚脱感、いつもと体調が違う

＜重傷になると＞ 返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

【熱中症が疑われる人を見かけたら】

＜涼しい場所へ＞ 風通しのよい日陰など、涼しい場所へ

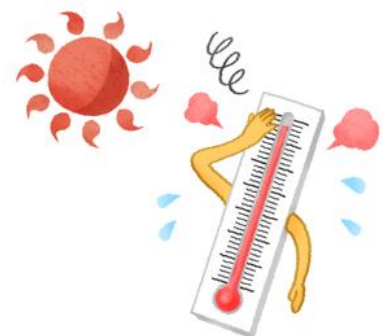
＜からだを冷やす＞ 衣服をゆるめ、からだを冷やす（首回り、脇の下、足の付け根など）

＜水分補給＞ 水分、塩分、経口補水液などを補給する

【自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を！】

熱中症は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。

屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送となる、場合によっては死亡することもあります。学内で熱中症の疑われる人を見かけたら、至急、体育事務室や警備員室に連絡して下さい。



打撲・捻挫・骨折の応急処置

打撲（階段で転んだり、何かにぶつかったりして紫色のあざを作った時）

1. 患部を氷水などで冷やして痛みや発熱を抑え、なるべく患部を動かさないこと。
2. 痛みが激しい場合や大きな傷があれば骨折・脱臼の可能性があるので、患部を布またはラップ等で固定し病院を受診してください。

捻挫（転んで足首をひねったり、手をついたりした時）

1. 患部を氷水などで冷やし、安静にすること。（患部を揉んだり、無理に動かさない）
2. 布またはラップ等で固定する、枕や座布団などで患部を少し高くすると腫れを少なくすることができます。
3. それでも腫れや痛みが続くようであれば病院を受診してください。
※氷と氷嚢は体育館及び総合運動場管理室にあります。



骨折（受傷直後から激しい痛みがあり、腫れや皮下出血を伴う）

1. 患部を動かさないでください。
2. 骨折した部分を布またはラップ等で固定し安静を保ってください。（腕の場合は固定してから三角巾で吊ってください。）
傷のある時は、先に患部を止血し、病院を受診してください。

（参考）救急受診アプリ「Q 助」

緊急時の判断支援用のアプリケーションとして消防庁が作成したアプリです。

該当する症状及び症候を画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な対応が表示されます。

以下の URL もしくは QR コードから WEB アプリ版にアクセスできます。

https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app/kyukyu_app_web/index.html

※WEB 版に加え、スマートフォンアプリ版も用意されています。



（お願い）EPA 作成について

EPA（緊急時対応計画）は医療関係者が常駐していない場合でも、救護体制を構築できるよう事前に作成、有事の際に最善の処置、対応を行えることを目的としています。各課外活動団体においても作成いただき、緊急事態に備えるようお願いします。

スポーツ現場における EAP 作成ガイドライン

Emergency Action Plan : 緊急時対応計画

Emergency Action Plan とは

スポーツを行う人すべてに安全で安心な環境を提供しベストなパフォーマンスを出していただくため、施設やスポーツ団体側が事故の際「事前に対応計画を立てておくこと」をEAPといいます。EAPは、医療関係者（医師・看護師・救急救命士・スポーツトレーナー）が常駐していない場合でも、救護体制を構築できるよう事前に作成し、有事の際に、最善の処置、対応を行えることを目的とします。

EAP 作成に向けての6つのポイント！

1



考えられるケガ・病気

2



資機材の準備

3



処置の方法

4



AEDの配置

5



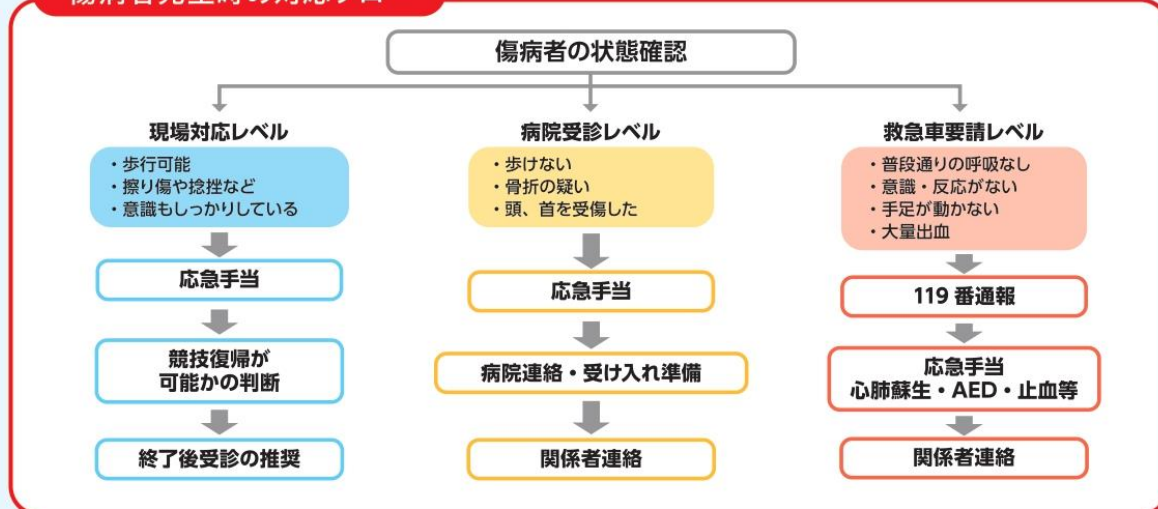
救急車の進入経路

6



近隣の病院の情報

傷病者発生時の対応フロー



～スポーツ中の突然死ゼロを目指して～



EAP作成の詳細はこちら▶▶

<https://aed-zaidan.jp/index.html>

日本AED財団

検索

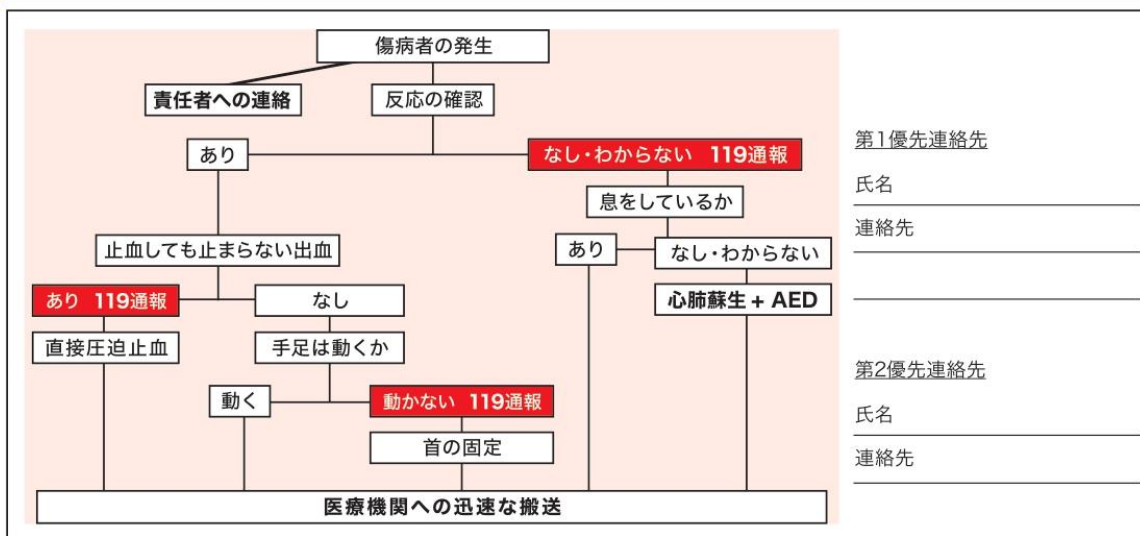


≫ Emergency Action Plan 作成テンプレート

スポーツ施設や大会・クラブチームにおける 緊急時行動計画(EAP)

施設・大会・クラブチーム名 () 緊急時施設内連絡先TEL - -
緊急時以外：救護室TEL - - ()

傷病者対応フローチャート



対応に必要な資機材 一覧表

ファーストエイド (FA) 応急手当キット一覧

- | | |
|--|--------------------------------------|
| ☐ 感染予防キット (手袋S・M) | ☐ 絆創膏 |
| ☐ ガーゼ | ☐ ハサミ |
| ☐ 三角巾 | ☐ ネックカラー |
| ☐ 包帯 | ☐ シーネ |
| ☐ 固定テープ | ☐ スクーブストレッチャー |
| ☐ AED | ☐ バックボード |
| ☐ タオル | ☐ アイシングプール |
| ☐ | ☐ 車いす |

①AEDや搬送機材設置場所 ②機材保管場所を記入

救護体制に関する基本情報

(コーチ・指導者・非常勤・ボランティア等)

役 職

(氏名:) (連絡先:)
(氏名:) (連絡先:)
(氏名:) (連絡先:)

近隣の医療機関情報

病 院 名

(科目:) (連絡先:)
(科目:) (連絡先:)
(科目:) (連絡先:)
(科目:) (連絡先:)

競技会場、救急車導入、搬送に必要な情報

案内図 ①救急車導入経路 ②停車位置 ③傷病者搬送経路の導線を記入

泉キャンパス近隣の医療機関

■ 仙台徳洲会病院

住所：仙台市泉区高玉町 9-8

電話：022-771-5111（代表）

■ 松田病院

住所：仙台市泉区実沢字立田屋敷 17-1

電話：022-378-5666（代表）

■ 仙台循環器病センター

住所：仙台市泉区泉中央一丁目 6-12

電話：022-372-1111（代表）



問い合わせ先

土樋キャンパス学生課（住所：仙台市青葉区土樋一丁目 3-1 電話 022-264-6471）

月～金 8時30分～17時00分

土・日・祝日 閉室

五橋キャンパス学生課（住所：仙台市若林区清水小路 3-1 電話 022-354-8220）

月～金 8時30分～17時00分

土・日・祝日 閉室

泉キャンパス体育事務室（住所：仙台市泉区天神沢二丁目 1-1 電話 022-375-1191）

月～土 9時00分～22時00分 但し、長期休業期間は 9時00分～18時00分

日・祝日 9時00分～18時00分

※大学が必要と定める日（お盆期間・年末年始・施設点検日・その他）は閉室です